



# 地下鉄3号線延伸による 麻生区のまちづくり

## 次世代へつなぐ

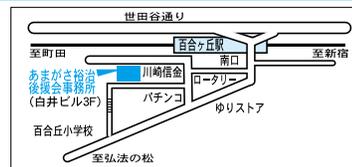
<裏面もご覧下さい>

- ・横浜市は整備すべき路線と考えています  
横浜市に直接確認しました。
- ・路線決定が早期整備のポイント

市役所内 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1  
 事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 1-20-7  
 ホームページ: <http://www.e-amagasa.net/>  
 Eメール: [amagasa@khaki.plala.or.jp](mailto:amagasa@khaki.plala.or.jp)

TEL 044-200-3355 FAX 044-245-4135  
 TEL・FAX 044-955-2417

後援会事務所 小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分、  
川崎信用金庫百合ヶ丘支店並び、白井ビル3F



発行所 民主党川崎市議会議員団事務局

平成26年7月22日横浜市ではあざみ野、新百合ヶ丘間の調査着手を決定いたしました。この時点で横浜市が川崎市へ求めているスタンスについて懇意にしている横浜市議会議員を通じて確認を取りましたところ

「横浜市として調査関係の予算をいただいておりますが、準備が整いましてので、8月下旬から調査に入る」となり記者発表させていただきます。川崎市とは引き続き協議を重ねていくところですが、事業化を検討する

### 横浜市はルート検討、地質調査、航空測量を実施

皆様にかかれましてはいかががお過ごしでしょうか。

さて9月から実施させていただきます横浜市営地下鉄3号線へのルートなどを含めたアンケート結果を一旦取りまとめを行いましたのでご報告させていただきます。ご感想を伺いたしたいと思います。

今回の集約はわずか2ヵ月半ではありますがが大勢の皆様からこの調査に對しまして回答をいただきました。心から感謝申し上げます。

ご返送、ご持参頂いた御意見は1枚1枚すべて目を通し、スタッフ皆で慎重に集約させていただきますが、非常に参考になる点が多く、統計上も充分かつ大変貴重なデータとなったと思えます。真摯にご検討を頂きましたこと冒頭心より御礼申し上げます。



民主党  
川崎市議会議員

## あまがさ裕治

## 新たな、安定的な税収確保に、 地下鉄延伸は不可欠な整備です

あざみ野駅には地下鉄の延伸建設のためにシールドマシンの発進口が出来上がっております。工事着手には終着駅である新百合ヶ丘駅の位置を確定しなければなりません。また、麻生区内の中間駅について、住民の要望や需要、経済効果の観点での必要性から、その位置などを積極的かつ主体性に検討を進め、「川崎市のまちづくり」として早期に作り上げる必要があるのです。事業主体は横浜市交通局が行っていくことは必然と思えます。国において

### 川崎市のまちづくりとして 主体的で積極的整備推進を

ためにも、ルート検討や地質調査など基礎的な調査は是非とも必要であり、横浜市としても、先行して調査を進めてまいります。ルート等の検討は全線で行いますが、地質調査などは横浜市域のみ実施する予定であり、川崎市域については川崎市様に予算化をお願いしているところです。この内容でした。

そこで今回のアンケート調査の中間報告にあわせて今現在の横浜市の調査の進捗状況を確認いたしました。

①ルートについては、検討中です。

②地質調査のうちボーリング調査については9月に実施済みです。

③空中写真測量については、11月に調査着手したところなので来年度も引き続き実施していく。

「次世代につなぐ」広域的まちづくりを進めるために

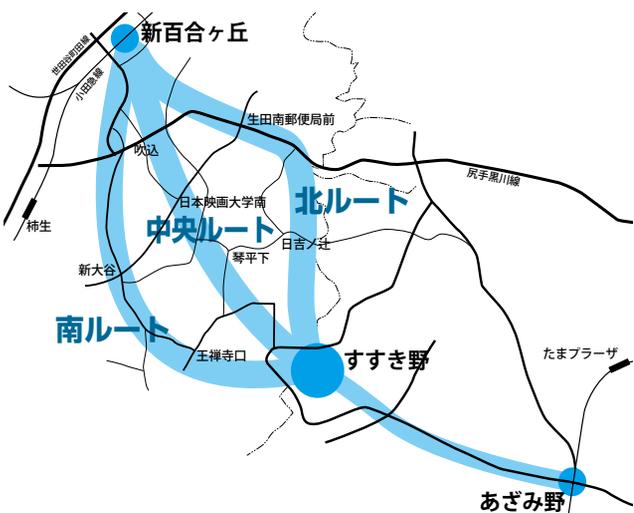
麻生区はこれまでも区画整理事業等による良好な住宅街を形成しながら、文化・芸術の街としても発展してきました。しかしながら全市の中でも急速な高齢化が進展し、向こう三軒両隣のうち半分が空き家の地域も出ています。土地の資産価値も、これまでのように「駅近」など利便性や環境で評価されるだけではありません。場所によってはすでに地区計画による敷地面積の規制などから取引困難になり、土地価格が値崩れしている地域も出てきています。

「次世代につなぐ」とは、3号線の延伸により街が活気を吹き返し、新世代が再び住みたい街を作る。また、今住んでいる人にとっても交通網の結節による経済効果により良好な固定資産を担保することが必要と考えます。また、ほとんど売却資産が残っていない川崎市にとっても、新たな街づくりによって安定的な固定資産の確保が果たせれば、税収の増加につながることもできるのです。

阿部前市長の時代に武蔵小杉は再開発が進み新たな安定的な固定資産税を確保しています。町田と新宿の間にある新百合ヶ丘が、二子玉川やたまプラーザと並ぶような街づくりとして転換が出来るか、駅南北ロータリーの再構築とともに北口再開発は大きな課題といえます。

行政の中には、この問題を麻生区だけの問題と考える方もいるようですが、実際は川崎市の予算全体にかかわり市民生活や福祉に大きく貢献する事業なのです。

## 9月の区民アンケート中間報告 地下鉄延伸 92%が「賛成」



「賛成」が9割を超えました。再整備をすべきだという意見を多く伺ってまいりましたが、予想以上の結果です。

普通の施設等では、「近くに住んでいる人は賛成か反対」に分かれ、「遠い人は無関心」という傾向が現れがちですが、地下鉄延伸計画については、設問5で聞いた「3ルートの範囲に住んでいるかどうか」にかかわらず、「賛成」は賛成という結果です。想定コースの選択の結果にも居住エリアでの差異がほとんどありません。回答していただいた皆さんが、真摯に検討してくださった現れです。

賛成	91%
反対	6%
どちらでもない	7%

【設問1】 事業費は、私の試算として総事業費1500億円中、本市300億円程度の見込みで、起債を含め長期間で応分負担も妥当な事業といえます。川崎市域についても、川崎市が自ら地質調査など実質的な予算確保を行う時期にあると思えますが、地下鉄延伸による新たな再整備を推進させることに賛成ですか？

選択項目	総計		北ルート		中央ルート		南ルート	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
住んでいる	238	45.8%	51	49.0%	125	45.5%	48	44.4%
住んでいない	255	49.0%	47	45.2%	136	49.5%	58	53.7%
無回答	27	5.2%	6	5.8%	14	5.1%	2	1.9%
合計	520	100.0%	104	100.0%	275	100.0%	108	100.0%

選択項目	総計		賛成		反対		どちらでもない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
住んでいる	238	45.8%	214	44.8%	19	65.5%	4	44.4%
住んでいない	255	49.0%	245	51.3%	5	17.2%	5	55.6%
無回答	27	5.2%	19	4.0%	5	17.2%	0	0.0%
合計	520	100.0%	478	100.0%	29	100.0%	9	100.0%

総計と各回答の構成比がほとんど変わりません。住んでいる地域にかかわらず、回答者が事業推進の是非、路線のルート選択を検討したことが分かる調査結果です。